

情勢分析レポート No.18

馬英九再選

—— 2012 年台湾総統選挙の結果とその影響 ——

小笠原欣幸・佐藤幸人 編

アジア経済研究所
IDE-JETRO

目次

附 図	2012 年総統選挙 地域ブロック別の馬英九と蔡英文の得票数……………	vi
序 章	2012 年台湾総統選挙——本書の要約—— ……佐藤 幸人	1
第 1 章	投票結果の分析……………小笠原欣幸	7
	1. 概況	7
	2. 地域別の投票行動	10
	3. 支持構造——都市部と農村部——	13
	4. 屏東県と桃園県の事例	17
	5. 投票率低下の影響	21
第 2 章	選挙のプロセスと勝敗を決めた要因 ……小笠原欣幸	27
	1. 選挙戦の展開	27
	2. 馬英九の勝因	35
	3. 「92 年コンセンサス」	37
	4. 中国要因	41
	5. 蔡英文の敗因	42

第3章	選挙の争点に浮上した経済問題……………佐藤 幸人	45
	1. 馬英九政権第一期の経済情勢とそれへの対応	46
	2. 馬英九政権による中国との経済関係の拡大	49
	3. 蔡英文の経済政策と選挙結果の解釈	54
	4. 第二期馬英九政権の課題と展望	59
第4章	中国国民党と馬英九の戦略……………松本 充豊	63
	1. 台湾の半大統領制と選挙	63
	2. 馬英九政権の4年間	66
	3. 陣営の団結と改革	68
	4. 二重の勝利に向けた選挙戦略	71
	5. 総括と今後の展望	74
第5章	民主進歩党と蔡英文の挑戦……………松本 充豊	77
	1. 蔡英文と民進党	77
	2. 民進党の巻き返し	80
	3. 総統候補の党内予備選挙	83
	4. 陣営の団結と派閥勢力	84
	5. 選挙戦略とその成果	86
	6. 総括と今後の展望	88

第6章	中国との関係改善と	
	台湾の国際社会への参加	竹内 孝之 91
	1. 国民党および馬政権の対中政策	92
	2. 台湾の国際社会への参加	97
	3. 中台関係をめぐる台湾国内の議論	101
	4. まとめと展望	106
第7章	馬英九政権下の米台関係	松田 康博 109
	1. 中台関係の緩和と安定化	110
	2. アメリカの対中「戦略的再保証」の挫折と「基軸転換」	111
	3. 武器調達案の紆余曲折	113
	4. 停滞する主力戦闘機の更新	116
	5. 馬英九の再選とアメリカ産牛肉問題	118
終章	馬英九政権第二期の台湾政治と	
	中台関係の展望	小笠原欣幸 125
	1. 馬政権第二期の内政	125
	2. 馬政権第二期の中台関係・外交	127
	3. 民進党の今後	129
	4. 台湾総統選挙のメッセージ	131

執筆者紹介（執筆順）

さとうゆきひと 佐藤幸人（序章，第3章）

所属 アジア経済研究所 新領域研究センター 企業・産業研究グループ グループ長

主要著作 『台湾ハイテク産業の生成と発展』（岩波書店 2007年）、「ポスト民主化期における租税の政治経済学」（若林正文編『ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年——』アジア経済研究所 2010年）、「交錯する台湾社会」（沼崎一郎との共編著 アジア経済研究所 2012年）

おがさわらよしゆき 小笠原欣幸（第1章，第2章，終章）

所属 東京外国語大学 准教授

主要著作 「陳水扁の政権運営」（若林正文編『ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年——』アジア経済研究所 2010年）、「中国の対台湾政策の展開——江沢民から胡錦濤へ——」（天見慧・三船恵美編『膨張する中国の対外関係——パクス・シニカと周辺国——』勁草書房 2010年）、「2010年台北・新北市長選挙の考察——台湾北部二大都市の選挙政治——」（『東洋文化研究所紀要』第161冊 2012年）

まつもとみつとよ 松本充豊（第4章，第5章）

所属 天理大学国際学部 准教授

主要著作 「金権政治の再編と政治腐敗」（若林正文編『ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年——』アジア経済研究所 2010年）、「国民党の政権奪回——馬英九とその選挙戦略——」（同）、「台湾の半大統領制——総統の「強さ」と政党リーダーシップ——」（柏谷祐子編『アジアにおける大統領の比較政治学——憲法構造と政党政治からのアプローチ——』ミネルヴァ書房 2010年）、「台湾の政党システム」（岩崎正洋編『政党システムの理論と実際』おうふう 2011年）

たけうちたかゆき 竹内孝之（第6章）

所属 アジア経済研究所 地域研究センター 東アジア研究グループ 副主任 研究員

主要著作 『返還後香港政治の10年』（アジア経済研究所 2007年）、「国際空間の拡大？——『実体』としての国際参加——」（若林正文編『ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年——』アジア経済研究所 2010年）、「台湾、香港と東アジア地域主義」（アジア経済研究所 2011年）

まつだ やすひろ 松田康博（第7章）

所属 東京大学大学院情報学環 教授

主要著作 『台湾における一党独裁体制の成立』（慶應義塾大学出版会 2006年）、「NSC 国家安全保障会議——主要国の危機管理・安保政策統合メカニズム——」（編著 彩流社 2009年）、「改善の『機会』は存在したのか？——中台対立の構造変化——」（若林正文編『ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年——』アジア経済研究所 2010年）、「『最良の関係』から『相互不信』へ——米台関係の激変——」（同）

【表紙の写真】

選挙キャンペーン中の馬英九総統（AP/アフロ提供）

[情勢分析レポート No.18]

馬英九再選

——2012年台湾総統選挙の結果とその影響——

2012年5月31日発行

定価 [本体 1,200円+税]

編者 小笠原 欣幸・佐藤 幸人

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 ㊦ 261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 康印刷(株)

© 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 2012

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

無断転載を禁ず

ISBN978-4-258-30018-1

既刊案内

「情勢分析レポート」

(表示した価格は税込み価格です)

17	転換期のベトナム 第11回党大会、工業国への新たな選択 寺本実編 2012年 187p. 1785円	ベトナム共産党の第11回党大会が2011年1月に開かれ、政治・経済・外交にわたる今後の基本方針が定められた。同党大会とその前後の状況、文脈を、多角的な観点から読み解く。
16	ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略 山田紀彦編 2012年 145p. 1365円	2011年に行われたラオス人民革命党第9回大会、第7期国会議員選挙、第7期第1回国会という一連の政治イベントを多角的に分析し、今後のラオスを展望する。
15	朝鮮労働党の権力後継 中川雅彦編 2011年 161p. 1575円	金正日の後継者が継承する朝鮮労働党の政治理念を明らかにするとともに、朝鮮民主主義人民共和国の現実を、国際環境、マクロ経済、党の対外経済政策、貿易・投資状況の諸側面から分析する。
14	2009年インドネシアの選挙 ユドヨノ再選の背景と第2期政権の展望 本名純・川村晃一編 2010年 191p. 1890円	2009年インドネシアの選挙と第2期ユドヨノ政権を多角的に分析。
13	パキスタン政治の混迷と司法 軍事政権の終焉と民政復活における司法部のプレゼンスをめぐって 佐藤創編 2010年 112p. 1155円	パキスタンの政治変動における司法部の役割を分析。
12	アジア・コメ輸出大国と世界食料危機 タイ・ベトナム・インドの戦略 重富真一・久保研介・塚田和也著 2009年 122p. 1155円	食料危機克服のカギを握るアジア・コメ輸出大国を解剖。
11	朝鮮社会主義経済の現在 中川雅彦編 2009年 88p. 1050円	現地を発信源とした情報を中心に、国家予算・人口・外国投資・国家支援などの状況を分析。
10	アフリカ開発援助の新課題 アフリカ開発会議 TICADIV と北海道洞爺湖サミット 吉田栄一編 2008年 195p. 1575円	TICAD、洞爺湖サミットに向け対アフリカ援助の新課題を解説。
9	中国調和社会への模索 胡錦濤政権二期目の課題 大西康雄編 2008年 139p. 1575円	国内政治動向、外交政策、軍の動向、企業改革、外資政策の調整、日中経済関係等を分析。
8	韓米 FTA 韓国対外経済政策の新たな展開 奥田聡著 2007年 105p. 1050円	韓米 FTA を契機に FTA 政策を積極的に推進する韓国の動きを分析。
7	返還後香港政治の10年 竹内孝之著 2007年 91p. 1050円	返還後の香港政治と一国二制度を包括的に分析し、その将来像を展望する。